

第六十七回常任理事會協議要録

昭和十八年十二月十日（金）午前十一時半ヨリ於外務省儀典課長官舎

出席者

近藤理事長

大岡常任理事 釘本常任理事

相良常任理事 關野常任理事

根道支那事務局司政課長

長沼常任理事兼總主事 中島主事 上村主事

配布書類

第六十七回常任理事會協議要録、第六十八回常任理事會報告及議題

協議事項

イ、役員異動ノ件

前回ニ引續キ新ニ委囑セララルベキ監事、理事、顧問及評議員ニツキ原案作製ノタメ審議ス

其結果監事、理事及顧問ニツキテハ別表ノ如ク決定ス

評議員ニツキテハ審議未了ニツキ次回ニ續行スルコトトナレリ

ロ、松尾前理事長ニ對スル謝儀ノ件

松尾前理事長ノ功勞ニ對スル謝儀ハ金壹千円也ヲ標準トシテ、

會ノ經理ヲ參酌ノ上總主事ニ於テ決定スルコトトナレリ

但シ右金壹千円也ノ中ニ八年末賞與ヲ含ムモノナリ

ハ、本會ト中等學校教科書株式會社トノ間ニ於ケル室貸借契約

書ニ關シテハ原案ノ通り決定セリ

第六十八回常任理事會報告及議題

昭和十八年十二月十日（金）午前十一時半ヨリ於外務省儀典課長官舎

一 報告

イ、十一月二十七日付ヲ以テ長沼直見氏ニ常任理事ヲ委嘱セラ  
ル

ロ、十二月三日付ヲ以テ近藤壽治氏ニ理事長ヲ委嘱セラ  
ル

ハ、十二月六日付大東亞大臣ヨリ本會ニ大東亞地圖作製費補助

金トシテ金七萬五千円也ヲ交付セラ  
ル

ニ、十二月五日大東亞省支那事務局長ヨリ支司第七七八號ヲ以  
テ本會用紙配給方ニ關シ農商省ヨリ日本洋紙統制株式會社  
長宛通牒濟ノ旨申越アリタル旨ノ通牒アリタリ

一 議題

イ、役員異動ノ件

ロ、本會ト中等學校教科書株式會社トノ間ニ於ケル貸借契約

書ノ件

ハ、前理事長松尾長遠氏ニ對スル謝儀ノ件

日本國教育振興會長宛

一 所在

本部事務所

總町區廳ヶ岡三丁目四番地

文部省新館九號室

電話 銀座 (57) 五七七一一八 (内線六六七)

印刷部事務所

神田區若木町三番地

中等學校印刷株式會社內

電話 浪花 (67) 五九〇一一九 (内線九九)

二 設立

昭和十六年八月二十五日

三 目的

支那ニ於ケル日本國ノ普及並日本國教育ノ振興ヲ期スルコト

四 組織

大總理 文部省文部局長岡田啓介

大副總理 文部省文部次官

文部省文部次官

文部省文部次官

五 役員

大總理

文部大官

子爵岡田啓介 (三十等爵)

副總理

文部次官

菊池寛三郎

顧問

大東亞次官

山本錦一

顧問

文部省文部次官

近藤錦一

顧問

文部省文部次官

大岡侯三

顧問

文部省文部次官

何本久

顧問

大東亞次官

相良惟一

顧問

大東亞次官

關野房夫

顧問

大東亞次官

飯島武三

顧問

大東亞次官

長瀬直見

顧問

大東亞次官

西島實

顧問

文部省文部次官

根道清吉

顧問

文部省文部次官

柴田恒

顧問

大東亞次官

善山恒

顧問 (別表)  
顧問 (別表)  
顧問 (別表)

六 事業

一 日本語ノ普及ニ關スル施設ノ調査及研究

二 日本語教科用圖書ノ刊行及頒布

三 日本語教育資料ノ作成及頒布

四 日本語教師ノ養成及指導

五 日本語ノ普及並日本語教育ノ振興ニ關スル各種會合ノ開催

六 日本語ノ普及並日本語教育ニ關スル雜誌ノ發行

七 日本語ノ普及又ハ日本語教育ノ振興ニ關係アル内外諸國ニ於テノ聯絡

及之等諸國ノ行フ對等策ノ調査

八 其ノ他日本語ノ普及並日本語教育ノ振興ニ關シ必要ナル事項

以上ノ調査並中既ニ完了セルモノ及ビ目下着手中ノモノ左ノ如シ

一 調査及研究

○ 日支標準音ノ実地音聲學的的研究

○ 日語標準音

○ 読リ易キ語音綴法ノ地域別調査

○ 初一年の教授法

○ 中級の教授法

○ 聽力及發音の教授法

○ 萬方及綴方の教授法

○ 國語生の日本語指導法

○ 「てにをは」の研究

○ 意義上より見たる日文漢字の研究

○ 慣用語彙の研究

○ 語彙調査

兒童語彙 (十五万語)

成人語彙 (百万語)

○ 日本語學習辭典の編纂

○ 日華辭典の編纂

○ 日本語普及問題調査委員會第一報會

二 日本語教科用圖書

(1) 文部省著作支那同日本語教科用圖書

○ ハナシコトバ上 (昭和十六年二月)

○ 同 中 (昭和十六年三月)

○ 同 下 (昭和十六年三月)

○ ハナシコトバ學習指導書 (昭和十六年三月)

○ 同 中 (昭和十六年三月)

○ 同 下 (昭和十七年二月)

○ 日本語訳本 卷一 (昭和十六年十月)

○ 同 卷二 (昭和十七年四月)

○ 同 卷三 (昭和十七年八月)

○ 同 卷四 (昭和十八年十一月)

○ 同 卷五 (昭和十八年十一月)

○ 日本語訳本 習行集 卷一 (昭和十八年十月)

○ 同 卷二 (印刷中)

○ 同 卷三 (印刷中)

○ 日本文化 日本「大正の学生生活」 (昭和十七年四月)

○ 同 「さくろ一」 (昭和十七年四月)

○ 同 「日本の年中行事」 (印刷中)

○ 同 「日本の女」 (印刷中)

○ 同 「日本の紡織」 (印刷中)

(2) 文部省著作 南方同日本語教科用図書 卷一 (昭和十八年十二月)

○ 初等算数用日本語教科本 卷二 (印刷中)

○ 同 卷三 (印刷中)

○ 同 卷一 (印刷中)

○ 同 卷二 (印刷中)

○ 同 卷三 (印刷中)

○ 同 卷一 (印刷中)

○ 同 卷二 (印刷中)

○ 中等算数用日本語教科本 卷三 (印刷中)

○ 同 卷一 (印刷中)

○ 同 卷二 (印刷中)

○ 同 卷三 (印刷中)

○ 同 卷一 (印刷中)

○ 同 卷二 (印刷中)

○ 同 卷三 (印刷中)

○ 同人用速成日本語教科本 卷上 (昭和十八年十二月)

○ 同 卷下 (印刷中)

○ 同 卷上 (印刷中)

○ 同 卷下 (印刷中)

○ 日本文法教科本 (昭和十八年九月)

○ 日本語會話本 (印刷中)

(赤・安南・馬來・タガログ・英語版)

日本語教科書資料

(1) 文部省著作ノモノ

○ 綴字簿字便覧 (昭和十八年十月)

(2) 大東亞省ノ指令ニヨルモノ

○ 支那児童用繪本

オホゾラ (昭和十七年三月)

ガクカウ ( " " )

ヨイコドモタチ ( " " )

ハナ・ヤサイ、ノダモノ ( " " )

コドモノセカイ (昭和十七年四月)

ニッポンノタテモノ ( " " )

ノリモノ ( " " )

ドウブツ ( " " )

ハナシコトバ 改定用紙 (昭和十七年五月)

タイ語版日本語 (編纂中)

安南語版日本語 ( " )

大東亞地圖 (印刷中)

(3) 本編纂ノモノ (昭和十八年十月)

現代語法の簡明編 (印刷中)

新編語法 ( " )

日本語普及叢書

1 大東亞と日本語

2 日本語の簡明編

3 日本語要説

4 日本の文字

5 日本語の發音

6 日本語の "ヘ" 万

7 現代語法

〇 東亞の語言書

〇 東亞に於ける西歐語の普及

四 日本語教育ノ普及及發達

第一回 日本語教育講座 (昭和十七年一月)

第二回 日本語教育講座 (昭和十七年七月)

第三回 日本語教育講座 (昭和十八年六月)

支那語教育講座

第六回 (昭和十七年五月) 於浴恩館

第七回 (昭和十七年九月) 於東亞報館

第八回 (昭和十七年十月) 於東亞報館

第九回 (昭和十八年四月) 於仙川道場

再日本語ノ普及並ニ日本語教育ノ振興ニ努ムル各社聯合

日本語教授者懇談會

日本語普及問題講演會

第一回 (昭和十八年二月於京都)

第二回 (昭和十八年十月於東京)

第三回 (昭和十八年十月於仙臺)

六雜誌ノ發行

機關誌「日本語」

七諸團體トノ連絡協力

南方派遣日本語教育委員養成所トノ協力

國際學友會ニ日本語教師ヲ派遣

タイ南放送ニ用フル資料作成

東京都協和會及中央協和會ニ對スル協力

日本語教育振興會職員名簿（昭和十八年十二月八日現在）

總主事

主事

同

同

同

書記

同

研究員

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

事務員

（文部屬）

（大東亞屬）

長沼直兄

中島唯一

伊藤彌太郎

山口正

福田恆存

上村茂次郎

神谷誠之

大塚秀夫

鹿野鶴子

森山重雄

鴫川護之助

西尾みち

久保田幸

志村慶子

伊丹美和子

安達ミツ

清水喜美子

木村常子

種村澄子

田島歌

池島スミ

猪俣幸子

大槻久子

白崎秀雄

井上とみ

栗原由枝

黃地節子

鈴木房代

岡村通之

小林雪

三浦弘江



一、理事

一、新理事トスルモノ

陸軍省軍務局軍務課員陸軍少佐

海軍省教育局海軍大佐

文部省政學官

國際文化振興會專任常務理事

大東亞事務官

大東亞事務官

文部省政學官

情報局情報官

文部省政學官

日華協會主席

大東亞調查官

國際學友會常務理事

文部省政學官

松尾次郎

一宮房治郎

高木覺

黒田清

松尾長造

腰原仁

宇山厚

原元功

根岸圓義

田中彰

近澤道元

堂脇光雄

渡邊知雄

山崎高

二、前理事ニシテ顧問トスルモノ

國際學友會專務理事

三、前理事ニシテ評議員トスルモノ

文部省圖書監修官

大東亞囑託

善隣協會理事長

文部省政學官

文部省圖書監修官

青年文化協會常務理事

日華文化協會主席

國語協會理事長

四、前理事ニシテ主席トスルモノ

大東亞省囑託

二、監事

文部書記官

大東亞書記官

三、顧問

顧問中變更スベキモノ

(企劃院次長)

(阿部源基)

ハ舊ヲ示ス

矢野保吉

井上越

大志万準治

大島覺

久保田藤麿

塩野直道

豊田久二

松宮一也

梁田欽次郎

田中未雄

柴沼直

華山親義

(國民精神文化研究所長) 敎一 練成所長

情報局長 (奧村喜和男)

日本放送協會會長 (小森七郎)

特命全權大使 (重光 葵)

日本出版協會會長 (鷹司信輔)

(軍政顧問)

帝國教育會會長

(軍政顧問) (松岡忠一)

(大東亞省參事官) 大使館參事官

軍政顧問

特命全權大使

南洋協會會長

ビルマ協會會長

東亞同文會會長

同 副會長

四、評議員

情報局情報官

農商事務官

(國民鍊成所指導官)

(大使館參事官)

改訂用圖書調查會委員 (稻田昌雄)

(カナモジ會理事)

(國語協會理事)

(國語審議會委員)

( ) 同 ( )

臺灣總督府總務官

教科用圖書調查會委員

(東亞研究所常務理事)

( ) 同 ( )

(文部省教育官並國民鍊成所指導官)

(國語審議會委員)

(大東亞省參事官)

(大東亞省本官並與亞鍊成所鍊成官)

日本放送協會業務局長

( ) 同 ( ) 審議會委員

伊藤 延吉

村田 五郎

下村 宏

谷 正之

久宮 慈夫

蟹川 賴貞

永井 柳太郎

(永田 秀次郎)

松村 泰

村田 三三

澤田 三三

兒玉 秀雄

井上 三郎

近衛 文麿

阿部 信行

井澤 文

今村 等

(市谷 信麿)

伊藤 隆治

今國 貞

(上野 陽一)

(岡崎 守太郎)

(緒方 竹虎)

(岡部 長景)

(加藤 春城)

(壽山 孝一)

(唐澤 俊樹)

(喜多 長雄)

(木下 一雄)

(與水 實)

(下村 密)

(島津 久大)

(白木 喬一)

(關 正雄)

(竹 義興三郎)

新任

新任

削除

削除

新任

新任

新任

新任

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

(日語審議會委員)

(同)

日本出版會專務理事 (田中四郎)

東京局在滿勤務部長 (田中義男)

大使館(一等書記官)調查官 (堂本貞一)

南洋廳內政部長 (堂本貞一)

大使館(參事官)調查官

(京城)東京帝國大學教授

(文部省教學官) (長岡彌一郎)

日本放送協會國際部長 (中郷孝之助)

臺灣總督府文教局長 (西村高兄)

大使館(參事官)調查官

(東京帝國大學教授)

(日語審議會委員) 大東亞鐵成院長

(大使館一等事務官) (別所孝太郎)

(日語審議會委員) (星野行則)

大使館(一等通譯官)調查官

情報局部長 (堀公一)

(日語審議會委員) (牧野良三)

(同) (增田義一)

(大東亞書記官)

(日語審議會委員) (三木武吉)

(同) (三宅正太郎)

教育總署總編審

(日語審議會委員) (森岡常藏)

(同) (山根壽七)

(與亞鐵成所鐵成官)

文部省日語調查官

削除

同

(竹村勘吉)

(田澤義輔)

留岡清男

堀池英一

丁字尚

野村市次郎

時按誠記

削除

野村市次郎

橋本進吉

幣原坦

削除

同

林虎保孝

井口貞夫

削除

削除

削除

削除

枡谷秀夫

削除

同

加藤詢次郎

削除

同

吉田三郎

新任

横山正幸

同

同

上海大使館文化課長  
北京大使館文化課長